

平成27年度

公共事業事後評価（林道事業）

てんりゅう な ご お  
林道 天竜名古屋1線

浜松市(旧佐久間町)

交通基盤部 森林局 森林整備課

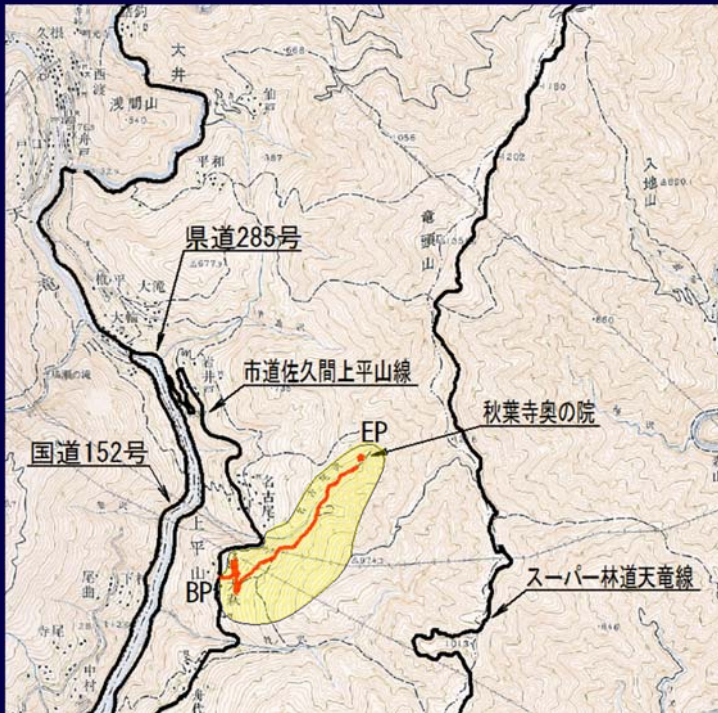
いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

【評価対象箇所】（林道事業）



# 【事業概要】



事業延長：2,586m

全幅員：4.0m



受益区域：139ha

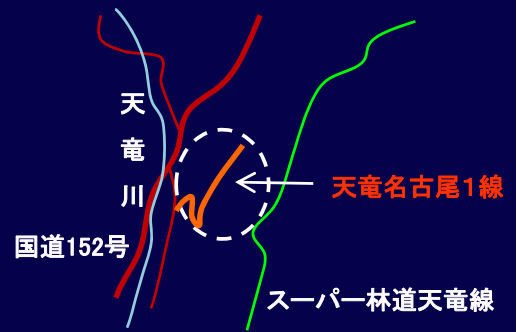
総事業費：584百万円

事業期間：H8～H21

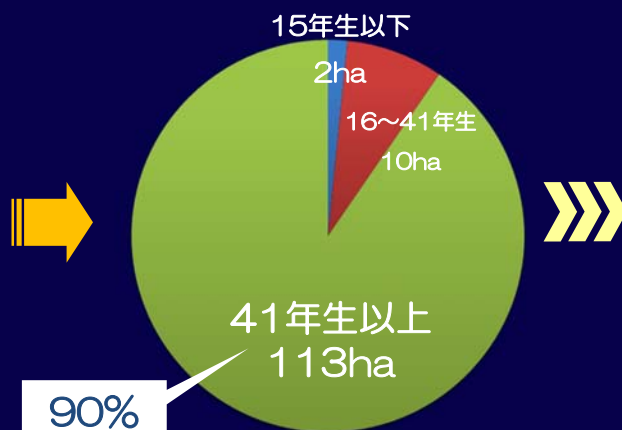
# 【事業の目的・必要性】

○森林資源の状況

受益区域面積：139ha



⇒ スギ・ヒノキ林：125ha (89.9%)



林齢別内訳

森林資源の充実

- 森林整備の促進
- 木材生産性向上

## 【事業の効果等】

○総費用（C）9.20億円

○総便益（B）10.37億円



木材生産等便益	2.03億円
森林整備経費縮減等便益	8.34億円
便益計	10.37億円

費用対効果分析（B/C） = 1.13

5

## 【事業の効果等】

○受益区域内(139ha)における森林整備実績（H10～H26）

区分	間伐	主伐	造林・下刈等	計
延べ面積	21.9ha	2.0ha	6.0ha	29.9ha

受益区域内の  
約22%

○林道からの森林作業道の開設実績

開設延長	1,600m
------	--------



整備前



整備後

6

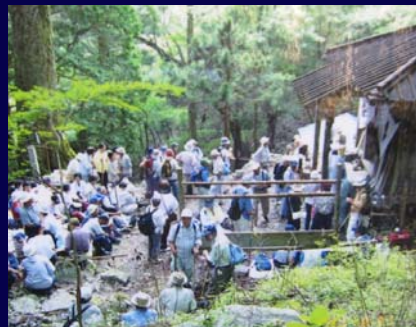
## 【事業実施による環境の変化】



秋葉寺奥之院



活動状況の展示



例祭の状況

### ○秋葉寺（しゅうようじ）奥之院へのアクセス性の向上

- ・ 林道終点付近より地域住民等により「奥之院」への歩道が整備
- ・ 「奥之院」を拠点とした地域住民等による活動の活性化がみられる

### ○治山ダム建設の資材搬入路としての活用

- ・ 名古屋沢への治山ダム建設により、地域の防災性向上が図られた

7

## 【社会情勢等の変化】

### ○ふじのくに森林・林業再生プロジェクト

#### 取組の成果

- ・ 平成26年度末に(株)ノダが新たな合板工場を稼働
- ・ 県内に50万m<sup>3</sup>の原木の受け入れ態勢が構築

#### 第2ステージ

### 木材の安定供給体制の構築

### ○天竜材（国際的な森林認証材）の販路拡大

- ・ 東京オリンピックに向け販路拡大の取組
- ・ 林道整備によるFSC森林認証取得気運の高まり

8

## 【対応方針（案）】

### ○評価結果

事業効果は十分に発現しており、改善措置の必要はない。

### ○今後の課題等

計画的な木材生産のために森林経営計画の作成支援を進める

### ○同種事業への反映等

市や地域住民と密接に連携して森林整備を推進する仕組みづくり